学校番号	1101

令和２年度　芸術科［音楽］

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１・２
使用教科書	高校生の音楽Ⅰ　（教育芸術社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歌唱「歌うこと」、器楽「楽器を演奏すること」、作曲「音楽をつくること」、鑑賞「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートの提出や実技テストで評価します。
・音楽の学習は、仲間とともに実際にやってみたり、試していくことで価値がうまれ、感性豊かになります。
・音楽が、日々の学校活動や、生涯に渡って心の支えや励ましとなり、生きる力になることを願います。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	A:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図ともっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏や解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	イメージを持って豊かな声で歌い上げよう！	【歌唱】 校歌 ひまわりの約束 ハナミズキ	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取りくもうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	リコーダーアンサンブルに挑戦！	【器楽】 エレクトニカル・パレード	○		○		a:アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 c:楽譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		【鑑賞】 バレエ音楽　ボレロ(ラヴェル)	○			○	a:管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴を表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、良さや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後期	日本語の美しい語感を生かして表現しよう	【歌唱】 この道	○	○	○		a:「この道」の曲想や歌詞が表わす情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心をもち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:「この道」のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 C:曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現するために必要な発声、日本語の発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ハーモニーを味わおう	【歌唱】 アメイジング　グレイス (混声4部アンサンブル9	○	○	○		a:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、合唱をする学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能（発声・言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方）を身に付け、協力し合い創造的に表わしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

	箏に親しみ、ソルフェージュや作曲に挑戦しよう	【器楽】 箏に親しむ 【創作】 さくらさくら変奏曲	○		○		a:箏の音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b:音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:箏の音色や奏法の特徴を生かした技能を身につけ、創造的に表現している。また、箏の読譜を正しく理解し、楽譜に表わすことができる。	観察 ワークシート 演奏の聴取

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。